



# 国際理解図書通信

2020年12月発行 第1号

いま、人々は、薄氷の上を歩くように、一歩ずつ、自らの安全を確かめながら、新たな生活を築こうとしています。  
 こんな「うちむき」の時代でも、世界を旅することはできます。  
 私たちは世界を知っているような気持ちですが、まだまだ未知のことで溢れています。  
 そこで、ライブラリーと国際理解教育部では、「今だから読んで欲しい国際理解教育の本」を厳選し、特集を組みました。  
 今回は、本校の交換留学の交流先、「シンガポール&台湾」を中心に紹介します。  
 人間にとって「ことば」はパワーの源です。教養を深め、未知の世界を広げましょう。  
 一人でも多くの生徒がライブラリーに足を運んでくれることを期待しています。  
 次回以降、「ハワイ&カナダ」の特集も予定しています。  
 ライブラリーのカウンター前で、今回紹介した本を展示しています。  
 気になった本の中身をチェックしてみましょう。



## シンガポール



『地球の歩き方 aruco シンガポール』  
 ダイヤモンド・ビッグ社 292.3/タ

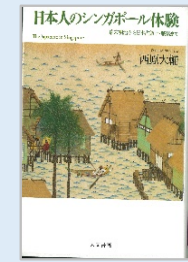
眺めるだけでわくわく！  
 シンガポールでしたいこと、行きたい場所は全てここに載っています。



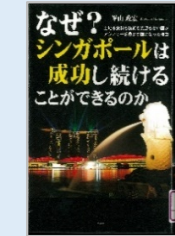
『プラナカン』  
 太田泰彦  
 日本経済新聞出版社 334/オ



『ハッピー・シンガポール』  
 かとうみさお  
 産業編集センター 292.3/カ



『日本人のシンガポール体験』  
 西原大輔  
 人文書院 319/ニ



『なぜ？シンガポールは成功し続けることができるのか』  
 峯山政宏  
 彩図社 292.3/ミ



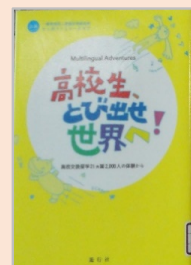
## 国際理解



『なないろペダル』  
 青木麻耶 出版舎ジグ 298.0/ア  
 銀座OLが、無力感に絶望し日本を飛び出した！  
 カナダ～アルゼンチン11000km 自転車の旅。  
 職質ニモマケズ、砂嵐ニモマケズ、挑んだ先で得たものは。



『へんなほうりつ』  
 のり・たまみ 扶桑社 320/リ  
 スイスでは幼いうサギを一羽で飼ってはならない。  
 だってウサギは寂しがり屋だから！？  
 各国の変った法で異文化交流体験ができる一冊。



『高校生、とび出せ世界へ！』  
 遊行社 376/ロ  
 「海外高等学校交換留学〈Year Long〉プログラム」に参加した高校生と家族の留学体験記。



『台湾 いま激動する国』  
 巖勝雄  
 二宮書店 292.2/ケ



『これならわかる 台湾の歴史 Q & A』  
 三橋広夫  
 大月書店 222.4/ミ



『おうちで台湾スイーツ』  
 谷口ももよ  
 洋泉社 596.6/タ



『台湾你好本子』  
 青木由香  
 JTBパブリッシング 292.2/フ



## 台湾



『台湾の若者を知りたい』  
 水野俊平 岩波ジュニア新 S302/ミ

台湾の高校生の放課後の過ごし方は？日本女性は厚化粧？食事のマナーが厳しすぎる！など、リアルな台湾の若者の本音を取材。